

恋する川柳物語かわら版



其の二十七

第二十六回 「恋する川柳」 — 【春】 恋する川

柳編 — の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」春編では、『ご縁・御縁(ごえん)』または『縁(えん)』

という言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

3月23日、ついに、私たちの道の駅の正面を横切る高速・鳥取自動車道が全線開通しました。それからの時間の流れがとりわけ早かったこと早かったこと！正直ここまで人の流れがよく動くとは、予想できませんでした。ですが、自分でも「エライ！」と思わず自分を誉めてあげたくなったのが、今年の地元の桜前線の予想は見事に的中したこと☆ 9歳の可愛い息子ちゃん孝行と、彼氏さんとの夜桜デートと、今年は久しぶりに充実した春を過ごせられました。

それでは、各地の「恋する川柳仲間」のみなさまは、この春の作品にどんな想いを込められたのでしょうか？のんびり覗いてみましょう♪

【応募作品一覧】

- ◆ 「かわはら」で 川柳の縁 六年が (兵庫県)
- ◆ 夜桜の 下で焦がれて 君を待つ
- ◆ チューリップ 見れば君の 笑い顔 (P. N 小星)
- ◆ あの日傘 花見ご縁に また出会い (P. N 小星)
- ◆ 誰しもが ご縁があつて 結ばれる
- ◆ 川柳を 投句出来るも ご縁有り (鳥取県)
- ◆ 御縁あり 恋する妻と 八十路
- ◆ 春彼岸 先祖と御縁 これも恋 (鳥取県)

つてなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

◆ お賽銭 膨らむ恋の ご縁（五円）なり

(P. N 源田 繁太郎)

◆ ご縁かな いつしか自然に 手を結ぶ

想い出や 甘くせつない さくら色 (石川県)

◆ ご縁かしら 姫の恥じらい 恋の色

(P. N 茶々丸)

◆ ご縁呼ぶ 五円忍ばす 春財布 (P. N 子夏)

(P. N 伸子)

◆ カレカノの 肩に落ちたよ 梨の花 (P. N 伸子)

(P. N 伸子)

◆ 牡丹みて 今年は巡り 会えるかな (P. N 大和の雨蛙)

(P. N 大和の雨蛙)

◆ 移動時期 今年は巡り 会えるかな (P. N 夕樹)

(P. N 夕樹)

◆ お日様の ご縁よろこび 樹が伸びる (P. N 艶子)

(P. N 艶子)

◆ 雨やどり ご縁あれよと 神頼み

(P. N おさぼう)

◆ うば桜 枯らすもんかと 僕の嫁 (P. N 虎次郎)

(P. N 虎次郎)

◆ 一日に 二度会いチャンス ご縁かな (P. N 虎次郎)

(P. N 虎次郎)

◆ これも縁 縁が取り持つ 清流茶屋 (P. N 曲者)

(P. N 曲者)

◆ この傘が ご縁となつて きみとぼく

(P. N 虎次郎)

◆ 待ち合わせ 縁起かついいだ 服にする (兵庫県)

(兵庫県)

◆ お願いよ 御縁神様 ふり向いて

(P. N かずちゃん)

◆ こじつけの キスに笑った チューリップ

(P. N かずちゃん)

◆ 夢覚めず 白詰草のティアラ 乗せ (P. N かずちゃん)

◆ イケメンと 縁つくる術 募集中 (P・Nぱぐ美)

◆ 必然の 縁だったから サファイア婚

◆ 田舎では 野良猫にさえ 縁がある (P・Nしめじ飯)

◆ たんぽぽの 黄いも綿毛も 愛おしい (P・N春爺)

◆ 共通点 たっくさんあるのって ご縁だね

◆ きみとぼく ご縁頂き 瑞瑚婚

◆ このご縁 きみと二人で 歩む道 (P・N仁)

◆ 川柳が 御縁で君と 春迎え

◆ 良きご縁 ここまでくれば 腐れ縁

◆ 縁結び ほどく努力 倍かかり (P・N悠々愛々)

◆ 夜桜を 観に来て出逢う 縁と縁 (P・N臨海和笑)

◆ よきご縁 求めて旅は 出雲路へ (P・N次男坊)

◆ 花吹雪 恋が止まない 春の宵

◆ 縁樹に恋を語れば 寝つかれず

(P・N京都のみっちゃん)

◆ 好きな彼 ご縁が結ぶ 赤い糸

◆ ほやほやの 春が二人を 祝福し

◆ 君に逢う 恋のご縁を 信じたい (P・Nかのん)

◆ 助手席に いつもと違う 春匂う (P・Nごん太)

◆ セールスマン 故郷が縁で 大人買い

◆ オタノミクス 株下げないで 縁上げて

◆ すっぴんで グチ言いあって 縁つづく

◆ 縁側で 渋茶をする 影ふたつ (P・N銀次郎)

◆ 早春の 日差しがらいの 幸でいい

◆ 縁あつて くの字のこころ のの字なる

◆ 藤の花 つらつらつらと 恋の文 (P・Nぶちの白馬)

◆ 制服の 第2ボタンが 欲しい春

◆ 明日から ふたりで暮らす 梅のとき

◆ また来たわ 私の好きな 恋の春 (P・N花咲き夢子)

◆ 雑草も ご縁があつて 我が庭に (P・N清少納言)

◆ なんの縁 孫の可愛さ 理屈抜き

◆ コスモスも あなたと過ごし いま桜 (P・Nニヨッキ)

◆ 入学式 写真は端と 端だった (P・Nひぐらし)

◆ 宝くじ 縁がないのか 運なのか

◆ 赤い糸 縁のしつばを 手繕り寄せ

◆ プレゼント 買つたら残高 五円 (ご縁) なり

◆ 結婚は ご縁 勢い タイミング (P・Nベーちゃん)

◆ 縁あつて あなたのパンツ 洗つてる (P・N姫ちゃん)

◆ 恋心 静かに燃ゆる 桜雨 (P・Nふう)

◆ お賽銭 五円で御縁 手繰り寄せ (P・Nみぢんこ)

◆ 縁あつて 二人漕ぎ出す 夫婦船

◆ 春巡る 遠いあの日の 恋心 (P・Nほろ酔い)

◆ 夜桜に キミのうなじと 気が付かず (P・N氷川の杜)

◆ 縁あります 二人漕ぎ出す 夫婦船

◆ ご縁です 隣にちょこん お雛様

(P・N pa-i-pa-i ibu-chin)

◆ いい縁と やつと思えた 老夫婦 (P・N共白髪)

◆ 縁ありて 嫁いだ彼に 円がなし (P・N貧乏くじ)

◆ 駐れ初めの 縁は三朝の 混浴湯 (P・N銀河伝説)

◆ 我が娘 今年こそはと 縁結び (P・Nよつは)

◆ 神頼み ご縁を願い 五円玉 (P・N白い負け犬)

◆ 夫婦して 季節楽しむ ふきのとう

◆ 娘の縁を 求め出雲路 夫婦旅 (P・Nゆうな)

◆ せせらぎが 恋歌になる 川の春 (P・N琴音翼)

◆ 世の摂理 『引力』という ご縁あり

◆ 円になり 縁を盛りあう 花宴 (P・Nお酔)

◆ ご縁をと 大きく鳴らす 宮の鈴

◆ 春風に 揺れる少女の 恋心 (P・Nすみれ)

◆ さくら咲き 恋するあなたと 出会う旅

(P・N働き蜂ちえちゃん)

◆ 桜散る 今年も君に 思い秘め (P・N西宮のフーコー)

◆ 御縁とは 一期一会の 巡り合い

◆ いつまでも ご縁忘れず 二人旅 (P・Nワタミツ)

◆ 告白へ 背中を押して 春の風 (P・N PON5)

◆ 夜桜で 寄り添うふたり 虹の色

◆ 夜桜に 唇寄せて 頬紅く (P・Nれんこ)

◆ 春の恋 夏まで行けば 縁談に

◆ ご縁です 決まり文句で 明日がある (P・N小言悠三)

◆ ご縁です 巡礼の旅 御縁樹で (P・N綾小路むらひろ)

◆ 桜舞う 巡礼の旅 御縁樹で (P・N綾小路むらひろ)

◆ 下さいと なかなか言えぬ 第二ボタン (P・N歌仙草)

◆ 初恋は 桜のような 風情あり

◆ 永遠の 桜のような 君が好き (P・Nたかさま)

◆ ご縁あり おみくじの言い 信じてみる

◆ ご縁得た ホームで見送る 新生活 (P・Nおおもり)

◆ 気温より マスク姿で 春を知る

◆ 新しい ブックカバーが 似合う春 (P・N清詩薫)

◆ ご縁より 神様からの 贈りもの

◆ 旅立ちの 子の背にひとつ 春がゆく

◆ 恋心 くすぐる出会い 花の宴 (P・Nやまちゃん)

◆ 縁結び 何度まいれば 叶うやら (P・N夢追い人)

◆ ノラ猫が 人に媚うる 桜道

◆ まだ少し 夢もあります 古稀の春 (P・Nこうちゃん)

◆ 僕の恋 春風に乗せて あの娘まで

(P・N高塔山の河童)

◆ 嫌々が なぜだか好きになるご縁

◆ 出逢いの日 定めの縁か 恋におち (P・N湘路)

◆ 春の花 香りを放ち 君を恋い (P・N散歩)

◆春惜しみ 行き交う人の 恋眩くて

◆池水に 恋する藤の 影二つ (P・Nすふいんくす)

◆縁あれば 来世でもきっと 会えるよね

(P・N真田 菜摘)

◆葉桜の さくら祭りも 君となら (P・N好日郎)

◆願うのは 揺れ鳴る絵馬に 縁結び (P・Nけいたけ)

◆春なのに マスクで恋など 語れない (P・Nぼっち)

◆恋しくて メールの文字が さくら色 (P・Nふくりん)

◆春風が 私の気持ちの 肩を押し

◆丸顔の 私とあなたの 優しい縁 (P・Nだー)

◆トキめいて 春の嵐に 眠られぬ (P・N雪子)

◆恋あつて 結びし縁は あなただけ (P・N愛妻家)

◆道連れの 旅でも縁は 選びたい (P・Nひとり旅)

◆春なのに マスクで恋など 語れない (P・Nぼっち)

◆恋しくて メールの文字が さくら色 (P・Nふくりん)

◆春菜の レシビ聞く娘 (こ) や まさか恋?

(P・Nボケ爺さん)

◆真っ先に メールで知らす サクラ咲く (P・N奴だこ)

◆イケメンで お金持ちでも 縁がない

◆恋をして 心身ともに 春うらら (P・Nせんちゃん)

◆還暦は 縁ある夫婦の 折り返し

◆縁出来て 箱入り娘 箱を出る

◆騙されて 三十年の くされ縁 (P・N古都里)

◆目が合った ご縁で君は うちの猫 (P・N古都里)

◆超嫉妬 彼と桜が 見つめ合い

◆友だちの 友だちにある 恋の縁 (P・N真昼)

◆縁あれば 来世でもきっと 会えるよね

◆縁台で 指す人を待つ 将棋駒 (P・N三つ柏)

◆咲いている 桜に雪が 惚れて降り

(P・Nいしづわ こーど)

◆春うらら 想いが一つ 摺れだして

◆道連れの 旅でも縁は 選びたい (P・Nひとり旅)

◆告られて これも御縁と 初デート (P・N無無)

◆四十越え やっと縁でき ハネムーン

◆湯上りの すっぴん美人 旅の縁 (P・Nヒデじい)

◆四十越え やっと縁でき ハネムーン

◆湯上りの すっぴん美人 旅の縁 (P・Nヒデじい)

◆神様に 願つたご縁 ハズレくじ (P・Nまじっく)

◆披露宴 恋のかけらが 縁結ぶ (P・Nさちみ)

◆四十越え やっと縁でき ハネムーン

◆神様に 願つたご縁 ハズレくじ (P・Nまじっく)

◆春惜しみ 行き交う人の 恋眩くて

◆春惜しみ 行き交

◆ おどろいて 見せ「縁だね」と待ち伏せて

(P・N 焼けばっくい)

◆ 春うらら ご縁感じる 出遭いあり

◆ 出遭いあり ご縁ですねと 恋模様 (P・N 泰平楽)

◆ 縁求め 花見で合コン 姥桜 (P・N ふつきー)

◆ 早咲きの恋 新緑の 桜祭りで 語る恋

(P・N 船岡五郎)

◆ 御縁の実 甘く大きな 恋の実に

◆ 縁あって あれからずっと 夫婦旅 (P・N 小田慶喜)

◆ 御縁樹に 小さき恋の 芽吹きあり

◆ 古の 縁の香る 春の恋 (P・N 小田和子)

◆ 御縁樹が 紡ぎ出してる 赤い糸

◆ 早春賦 聽くたび想う お下げ髪 (P・N 荻木和朗)

◆ 日本人 恋を桜で 結ぶ縁 (P・N せいいち)

◆ 縁あって 嫁ぎ縁なく 別れけり (P・N 合縁奇縁)

◆ タンポポの 綿毛に明日の 想い乗せ (P・N 夢子)

◆ 五円でも 心のご縁 膨らんで

◆ 縁結び 乙女の聖地 出雲かな (P・N いづみ)

◆ 桜散る家では満開 記念写真 (P・N つん)

◆ ご縁とは 神の創った ストーリー

◆ 縁結び 赤い糸の 先は誰 (P・N ジョイン)

◆ 待ち人が 来るかどうかは 縁次第 (P・N しかおどこ)

◆ 縁結び 樹にもすがって 沙汰を待つ (P・N 写楽)

◆ 夜桜の 力を借りて プロポーズ (P・N あかね雲)

◆ 花びらを「好き大好き」と縁を待つ (P・N 花キャベツ)

◆ 金婚も 縁と絆の 共白髪
◆ ご縁樹に そっと結びし 紅の糸 (P・N 湯たんぽ)

◆ 晩春の 散りゆく桜に 思い込め

◆ 春風に そっと思いを 寄せてみる (P・N 小林番茶)

◆ 声かけた あの日の自分が 縁結び (P・N けろたん)

◆ 春風に そっとと思いを 寄せてみる (P・N 小林番茶)

◆ 縁あつて 情愛長じ 介護合い (P・N 春ばあ)

◆ 縁あつて 情愛長じ 介護合い (P・N 春ばあ)

◆ 縁あつて 情愛長じ 介護合い (P・N 春ばあ)

◆ 結ばれる 縁だと自信 あるけれど

◆ 振り向かぬ 人の気を引け 春の風 (P・N 素人)

◆ 春が来て 恋の御縁の 気配する (P・N とんちゃん)

◆ 桜ふる 恋する頬と おなじ色 (P・N ももぶに)

◆ 運命は 未定ご縁は つかみ取る (P・N ほにやらか)

◆ つくし取り まぎれて四葉で おまじない

◆ お花見で 花より団子 男子かな (P・N カエッチクン)

◆ ひとつひらの 桜舞い来て 恋に落ち (P・N ゆみこ)

◆ 縁結ぶ 糸が見えるか 白兎

◆ 緣合わせ 札名気になる 神無月 (P・N キリギリス)

◆ 卒業と 共に初恋 花吹雪 (P・N 恋々)

◆ 告白を 受ける私も 桜色 (P・N かきくけ子)

◆ 恋の待つ 恋の時刻の 春の花

◆ 縁結び 赤い糸の 先は誰 (P・N ジョイン)

◆ 「銀婚」の「縁」たけなわに 締めはなし

(P・Nヒメ父)

◆ 花が咲き 蝶も小鳥も 恋語る

◆ ふりむくと きっと縁だね!? 君がいる
ぼくと君! 桜のような ほっぺだね!!

◆ 新学期 みんなウキウキ ハート飛ぶ (P・Nよし得)

(P・N HIKARU)

◆ 賽銭の 5円落として 繫ぐ縁

◆ 御縁樹に 祈って恋を たぐりよせ

◆ あたたかな あなたのせいで 恋芽吹く (P・N白梅)

◆ 花嫁は 幼なじみと いうご縁 (P・N颯爽)

◆ 釣り五円 渡す手が触れ 結ぶ縁

◆ やわらかき 縁をかさねて 桜咲く

◆ 里帰り 縁日出会い 結ぶ縁 (P・Nミニロック)

◆ 乾杯の グラスに 摆れている桜 (P・Nまりりん)

◆ ゆるキャラに 似ていて縁が 始まつた

◆ エンゲージ これからずっと 歩もうね

◆ 五円玉 いくつ入れれば 縁は来る (P・Nれんじい)

◆ 桜色 甘いわたあめ 甘い恋 (P・N Dのヤス)

◆ 七不思議 よりも不思議な 縁がある

◆ 縁安も 好きな彼女は まだ高嶺 (P・Nみどり)

◆ 人事には 縁を感じる これ必須 (P・Nかめのこ)

◆ 桜散る 頃にあなたへ 嫁ぎます (P・Nしかおんな)

◆ 縁起物 すべて身に付け 婚活す (P・Nとりびあの)

◆ 縁だけで あなたと生きて きたでなし

(P・Nあいらむ)

◆ 南風 タンポポ恋乗せ 飛んで行く

(P・N guamka-i)

【番外編】

◆ 金環見 四十なかば 千の華絵子 (岡山県)

◆ 逝くまでに 燃ゆるが如き 恋したし

◆ 八神さま 教え給えよ 恋の術 (京都府)

◆ 恋のチャンス 逃した結果 今夫 (兵庫県)

◆ 恋すれば 夢だけ膨らみ 何も言えず (P・N虎次郎)

◆ ペン先の 甘い囁き 恋の詩

◆ 黄昏で ささやきかえす 夫婦花 (岡山県)

◆ 川柳が 縁で立ち寄る 道の駅

◆ 良縁が 続き財布の 泣き笑い (P・Nとーさぶろー)

(P・Nはる)

◆ 古き恋 約束の地で 咲き乱れ

◆ 初恋を 遠征先で 思いだし (P・Nむこう)

◆ 鳥取は スタバないけど スナバあり

◆ スタバより 砂場で恋を しませんか (P・N信夫 祐司)

◆ 隠すほど 気付いて欲しい 恋心 (P・N暮色の天使)

◆ 加速する ノック知らずの 恋心 (P・N中前りおん)

◆ 君と会い 奇蹟を知った 道の駅

◆ 目に入れて 連れて行きたい 孫ふたり (P・N仁)

◆ そうですか 私も乗り鉄 ファンです (P・N冰川の杜)

◆ 吹雪には 君の帰宅の 無事案じ

(P・Nクンタ・キンテ・ジャパン)

◆ 新生活 恋のつぼみ 摆れ動く (P・N PON5)

◆ 恋という 魔法が解けた 父と母

◆ ドキドキが 5年も経つと トキドキに

(P・N怪傑もぐり33世)

◆ 歳重ね 今なら言える 恋心 (P・N高塔山の河童)

◆ 肉食も 草食もいて 甘味茶屋 (P・Nあるふおんそ)

◆ ああさみし 新聞恋しや 休刊日 (P・Nキスズマユミ)

◆ 相傘は より濡れた方が 惣れでいる

◆ 半世紀 前のほっぺを 庭に見る (P・N翔のんまな)

◆ ちゃん付けで 呼び合う夫婦は 同級生 (P・N黒潮)

◆ 果てしなき 青、白、薄紅、あなた、と私 (P・Nふみ)

◆ 握る手が かすかに震える 初デート (P・N無無)

◆ 出張で 居ないあなたの 席を拭く (P・N夢子)

◆ 夢を見た その日から君 好きになる

◆ 加速する ノック知らずの 恋心 (P・N中前りおん)

◆ 隠すほど 気付いて欲しい 恋心 (P・N暮色の天使)

◆ 君と会い 奇蹟を知った 道の駅

◆ 目に入れて 連れて行きたい 孫ふたり (P・N仁)

◆ そうですか 私も乗り鉄 ファンです (P・N冰川の杜)

◆ 吹雪には 君の帰宅の 無事案じ

(P・Nクンタ・キンテ・ジャパン)

◆ 新生活 恋のつぼみ 摆れ動く (P・N PON5)

◆ 恋という 魔法が解けた 父と母

◆ ドキドキが 5年も経つと トキドキに

(P・N怪傑もぐり33世)

◆ 歳重ね 今なら言える 恋心 (P・N高塔山の河童)

◆ 肉食も 草食もいて 甘味茶屋 (P・Nあるふおんそ)

◆ ああさみし 新聞恋しや 休刊日 (P・Nキスズマユミ)

◆ 相傘は より濡れた方が 惣れでいる

◆ 半世紀 前のほっぺを 庭に見る (P・N翔のんまな)

◆ ちゃん付けで 呼び合う夫婦は 同級生 (P・N黒潮)

◆ 果てしなき 青、白、薄紅、あなた、と私 (P・Nふみ)

◆ 握る手が かすかに震える 初デート (P・N無無)

◆ 出張で 居ないあなたの 席を拭く (P・N夢子)

◆ 特別賞

◆ お前との この縁異なもの 乙なもの (兵庫県)

◆ 『一言』まさにそのこと! 縁つて本当に分からない。

